

1-2 林業の振興

■現状と課題

1. 森林の管理と多面的機能の発揮

本町の8割を占める森林は、木材生産をはじめ、水源涵養、災害防止、景観保全、地球温暖化防止や町民の憩いの場など多面的(公益的)機能を持った貴重な財産であるとともに、その機能の発揮を通じて町民の生活の維持・向上に寄与しています。

しかし、間伐など森林施業の停滞、森林の生産機能の低下から、森林の荒廃が進んでいくことが懸念される状況にあります。

こうした中、森林の持つ多面的(公益的)機能を維持し高度に発揮するため、立地条件に応じた適正かつ継続的な森林管理や保全を進めるとともに、森林環境教育や健康づくり等の場など様々なニーズにも応えていくことが重要となっています。

2. 林業の基盤整備と施業

木材価格の低迷や林業労働力及び後継者の不足、経営コストの上昇により、森林施業の停滞が目立っております。

森林の整備及び林業の生産性を高めるため、既存林道網の維持補修に努め、経営コストの削減や省力化を図るとともに、森林の現況に応じた造林や間伐などの必要な施業を適時・適切に行う必要があります。

3. 森林資源の活用

森林は、人々が憩い、安らぎや癒しを与えてくれる場として活用されているとともに、木質バイオマスをはじめとする新たなエネルギー源としての有効活用や、地元産材の利用についても期待されています。

今後とも、多くの町民が身近に森林の魅力を感じられる森林公園などの施設の維持管理に努めるとともに、木材の利用拡大について関係機関とともに研究を進める必要があります。

■今後の方向性

1. 森林管理と多面的機能の発揮

(1)森林の持つ多面的(公益的)機能を維持し、高度に発揮するため、整備や保護を推進するとともに、治山事業などの実施により林地の保全に努めます。

(2)立地条件に応じた適正な施業により、長期にわたっての継続的な森林保全、育成を図るとともに、森林の持つ公益的機能の充実を図ります。

2. 林業の基盤整備と施業

(1)林業経営コストの削減や省力化を図るため、計画的な林道などの林内路網の整備により林業の基盤整備を推進し、林業経営の安定化を図るとともに生産性を高めます。

(2)林道や治山施設の改良及び新たな設置にあたっては、立地条件や周辺の自然環境に配慮した整備を行うとともに、既存の施設についても適正な維持管理に努めます。

3. 森林資源の活用

(1)町民が憩い、安らぎや癒しを与えてくれる場として、また、青少年が自ら森林について学ぶことのできるよう、森林公園など身近に森林の魅力を感じることできる施設の維持管理に努めます。

(2)木質パルプやチップなどの木質バイオマスをはじめとする新たなエネルギー源としての森林の活用について、関係機関と連携して検討を進めるとともに、カラマツなどの地元産材を公共施設を中心とした建物の建設に活用し、地域振興を図ります。

(3)将来にわたって林業労働者を確保するとともに、継続的な森林整備を進めるため、林業労働者や林業後継者の育成、支援に努めます。

(4) 森林資源の有効活用として、林産物の生産振興について関係機関と連携し、技能・技術の習得、指導に努めます。

■実施事業

- ・ 森林整備地域活動支援交付金
- ・ 下刈り
- ・ 枝打ち
- ・ 除間伐
- ・ 未来につなぐ森づくり推進事業（人工造林）
- ・ 町単民有林整備補助事業（除間伐）
- ・ 町単民有林整備補助事業（下刈り）
- ・ 町単民有林補助事業（枝打ち）
- ・ 町有林林道維持管理事業
- ・ 民有林林道施設維持管理委託事業
- ・ 林産物の生産振興（指導誘導）
- ・ 人工林材（間伐材）の安定供給
- ・ 有用な活用策や先進的な取り組み等の情報提供
- ・ 団地化による効率的な整備（指導誘導）
- ・ まきば林業グループ活動への支援